

江差町立南が丘小学校



かけはし

【本年度の重点教育目標】

『豊かな心の育成 礼儀正しさ・思いやり・粘り強さ』

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

あ、い、う、え、オーマイガー！

南が丘小学校長 佐藤 健

一晩の延期を経て、まさしく晴れて6月7日(日)の開催となった運動会。開催当日は、保護者・地域の皆様方のたくさんのご来場とご声援をいただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、過ごしやすい曇天にて開始された運動会は、終了時には晴れ間がのぞき、印象的な初夏のスタートとなりました。

さて、大きな行事を終えて一回り大きく成長した子どもたちに向け、今年度の「重点教育目標」を目指した新たな指導のステップに学校は向かっています。『豊かな心の育成 ～礼儀正しさ・思いやり・粘り強さの醸成～』がそれです。毎日の授業、全校での活動、係や委員会のお仕事、そして日常の対話、学校のあらゆる教育活動を通して、重点目標の実現に取り組んでいるところです。

この成長の主人公である子どもたち自身が、目指すゴールをイメージできるよう、1学期始業式のあいさつから、繰り返し子どもたちに伝え続けている言葉があります。それが『校長先生からの「あいうえお」』です。



- あ あいさつ ～ まずは「礼儀」正しく！これはもう、毎朝の元気な声で100点です。
- い いいとこ さがそう ～ これは「思いやり」運動会でも互いのよさを伝え合う姿が素敵でした。
- う うえを むいて ～ 「粘り強さ」の源は、前向きな気持ち。雨上がりに上を向くと虹が見えます。
- え えんやこらしょ！ ～ がんばる気持ちも、粘り強さには必要です。掛け声かけて元気よく。
- お お… ～ ここは、あえて示しませんでした。子どもたち自身に「目標」を見つけてほしいのです。

…すると、校長室の前のポスターには、子どもたちが考えた「お」のアイデアが次々と届きました。「思いやりは、みんなのため」「お礼を言おう」「怒らず、仲良く」「思い出作ろう」「終わらせよう、宿題を」「おそろしや、夜更かしは目を悪くする敵だ」…脱帽です。(見事な倒置法まで登場しました。)

子どもたちは、一人一人が異なる人生の主人公であり、自分なりの理想とする姿を思い描いています。そんな子どもたちの多様性と可能性を受け止め、輝く未来へのかけはしとなれるよう、私たち大人も負けてはいられませんね。これからも、「お」力添えの程、よろしくお願いいたします。

全力を出し切った運動会！

今年のスローガンは、「はしりきろう～全員でめざすゴールテープ～」です。子どもたちは全力を出して、競技・演技に取り組みました。最後の種目「全校リレー」では、全校児童36人がバトンをつなぎました。アンカーの6年生、辻南音さん、辻健瑠さんが最後まであきらめず「走りきる」姿は、とても素晴らしかったです。応援団長の森友輝さん、若山奏翔さんが、力いっぱい声を出し、全校児童の雰囲気盛り上げました。



最後までわからない接戦となりました。

「鮫踊り」は、保護者・地域の方が、世代を超えて大きな輪になり踊りました。江差町の伝統文化として、今後も大切にしたいと感じました。また、保護者の皆様には、PTA 種目「玉入れ」、借り人競争への積極的ご参加、子ども

たちへの大きなご声援、ありがとうございました。これからも子どもたちの成長のため、ご協力よろしくお願いします。

(左) 白組団長奏翔さん、(右) 赤組団長友輝さん。響き渡る声に感動しました。6年生の力強さ、責任感を感じました。

科学の楽しさを～移動理科教室～

道立教育研究所(江別市)の皆さんが来校し、普段はできないような特別な実験をしていただきました。子どもたちに科学の楽しさを感じてもらうための取り組みです(今回は3年生以上が対象)。

マイナス196℃の液体窒素の実験では、もやし、ハウレンソウ、風船などを凍らせてみました。子どもたちは興味津々で、実験結果に驚いたり、なぜそうなるのか？を考えたりしました。また、静電気の実験では、子どもたち自身の髪の毛が立ちあがる様子に歓声が上がりました。

教科書の知識だけではなく、実際に体験すること、不思議に興味を持つことがとても大切なことだと改めて感じました。



ハウレンソウを液体窒素に入れたらどうなる？ 子どもたちから様々な意見が出ます。そして、真剣な眼差しで実験を見ていました。

火事だ！どうする？

中休み、突然非常ベルが鳴りました。ホールで遊んでいた児童はバドミントンをやめ、立ち止まります。校内放送を聞き、静かに避難を始めます。

グラウンドに全員が集合するまで3分間、全体的にスムーズな避難行動ができました。毎年の訓練のおかげで、「お・は・し・も」が徹底された姿に安心です。

避難訓練の後に、家庭科室に煙(訓練用の安全なもの)をたき、中を歩く体験をしました。「前が見えない」「かがんで歩くと見える」など、子どもたちは改めて煙の怖さを感じていました。

実際に火事が起きた時、いかに自分の命を守れるかが訓練の目的です。先生、友達が近くにいないとき、自分で判断し行動する力が求められます。火事、地震が起きた時に限らず、日頃から自分で考える力を育てなければと考えています。



濃い煙の中を歩きました。

熱中症対策

これから夏本番を迎えますが、この時期、まだ暑さに慣れていない状態は熱中症になりやすいと言われています。学校ではエアコンの使用、こまめな水分補給、暑さ指数を基準とした体育館、屋外活動の制限など、予防に取り組んでいます。ご家庭では、十分な水分、食事の摂取、体調管理にお気をつけください。また、お子さんの健康状態について、担任と連絡を取り合い、心配事は事前にお知らせください。体調が悪い時には無理をさせず活動を休ませるなどの対策をします。安全に、夏を乗り切りましょう。